



NO.1 2025.4.18

今年度からおひさま新聞を発行していきます。おひさま新聞は学年の枠を超えて、学年間での日頃の交流や幼稚園で取り組んでいる事をお知らせしていきます。

幼稚園では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をもとに日々の子どもの様子やエピソードなどを記録し分析する研究を進めています。幼稚園での生活を通して、いろいろなことに興味をもち人と関わる楽しさを知り、社会に出て自分らしく生きていきたいという意欲をもつこと、それが将来の学びにつながっていきます。

子どもたちの活動には意味があること、それがこれから先にどのような力につながっていくのかをお伝えできたらいいなと思っています。

今回は年長(すみれ組)と年少(りんご組)の園庭巡り(戸外での約束事を確認しながら遊具を見て回る)をしたり、園庭で一緒に遊んだり、園内巡り(幼稚園にはどのような部屋があるのかを見て回る)をしている様子を「10の姿」を交えて紹介しまね。

### <幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」>

- (1) 健康な心と体 ~こころとからだのつながりを感じよう~  
☆一人ひとりの違い(心・身体の状態・心と体のつながり方)を大事にできる
- (2) 自立心 ~自分の気持ちに気づき、考え、行動につなげよう~  
☆自分の気持ちに気づき、どうしてこんな気持ちになっているのかを考え、次の行動に向かってすすんでいく力をつける
- (3) 協同性 ~かかわりあおう~  
☆心地良い“つながり”をつくる為に、気持ちを感じ合うことの大切さに気付く
- (4) 道徳性・規範意識の芽生え ~「安心」をつくらう~  
☆「誰もが安心できる場づくり」をめざし、みんなが安心して過ごせるルールをつくる
- (5) 社会生活と関わり ~自分とつながる人・モノ・「情報」を知ろう  
☆自分とつながっている人々や地域のことを考えたりふれあい、情報メディア(テレビ・ネット・うわさ話など)についても考える
- (6) 思考力の芽生え ~ちがいを「みらいの種」の栄養にしよう~  
☆ありのままの思いを出し、違いから新しいことを見出す
- (7) 自然との関わり・生命尊重 ~生き物の「いのち」、季節の「におい」を感じよう~  
☆広い視野で自然とのかかわりやいのちの尊さを感じる

- (8) 量・図形、文字等への関心・感覚  
~思いを伝えるツール<文字や数字・絵や音楽>にふれよう~  
☆文字は思いや考えを伝え、記号や数字や図形は、日常生活に必要な大切なツールであることがわかり活用しようとする
- (9) 言葉による伝え合い ~思いを聴こう・話そう~  
☆思いの伝え方も人それぞれであることがわかり、自分の思いを語る力をつける
- (10) 豊かな感性と表現 ~「もちあじ」を発揮しよう~  
☆かかわりの中で、安心してもちあじを発揮し、感性が豊かに育つ  
※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のめやすを示したものです。

「あっちに行こう！」と小さい組にわかるように身振りも入れて伝えています。  
(言葉による伝え合い)



砂場の玩具を片付ける事の説明を聞いています。遊んだ後、年長児が玩具を片づけているのを見て、同じように片づけている年少児でしたよ。  
(社会生活と関わり・道徳性・規範意識の芽生え)



帰る時にも、お迎えに来てくれる年長に、少し照れながらも手を繋いでいる年少。かかわりが深まってきています。(協同性)

トイレに行った後に手を洗う様子を見守っています。  
(健康な心と体)



りんご組が階段の手すりが持てるように手を繋いでいます。  
(社会生活との関わり)



「お兄ちゃん、手を繋いで〜！」と走ってきたところです。年長さん大好き♡  
(協同性・豊かな感性と表現)



年長児は年少の顔を優しい顔で見守っています。  
(協同性)

